

雌阿寒岳

○2006年3月21日の噴火

雌阿寒岳では3月21日午前6時27分頃から発生した火山性微動にともなって小噴火が発生した(札幌管区気象台発表)。この噴火微動の直前の地震活動は比較的静穏であったが、微動後は規模の小さな地震がしばしば発生している(図1)。

ヘリコプター観測により確認された噴火口位置(札幌管区気象台提供)は、ポンマチネシリ(赤沼)火口北西外側の標高約1300m地点で、1998年までの噴火で主に活動していたポンマチネシリ火口南側の火口(図2)とは異なっている。噴火に伴い、小規模な融雪泥流の発生も確認されている。

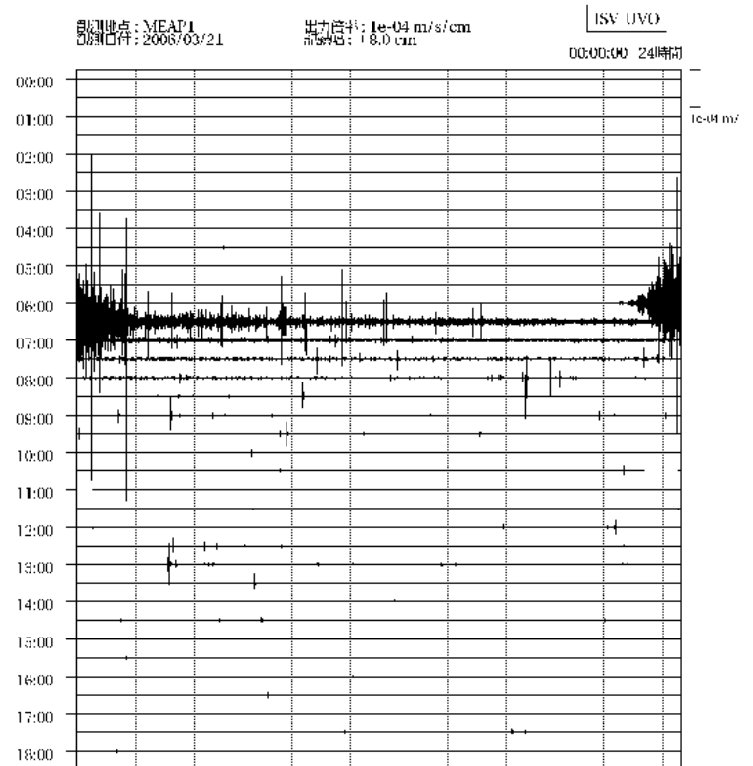


図1. 3月21日午後5時過ぎまでの地震記録.

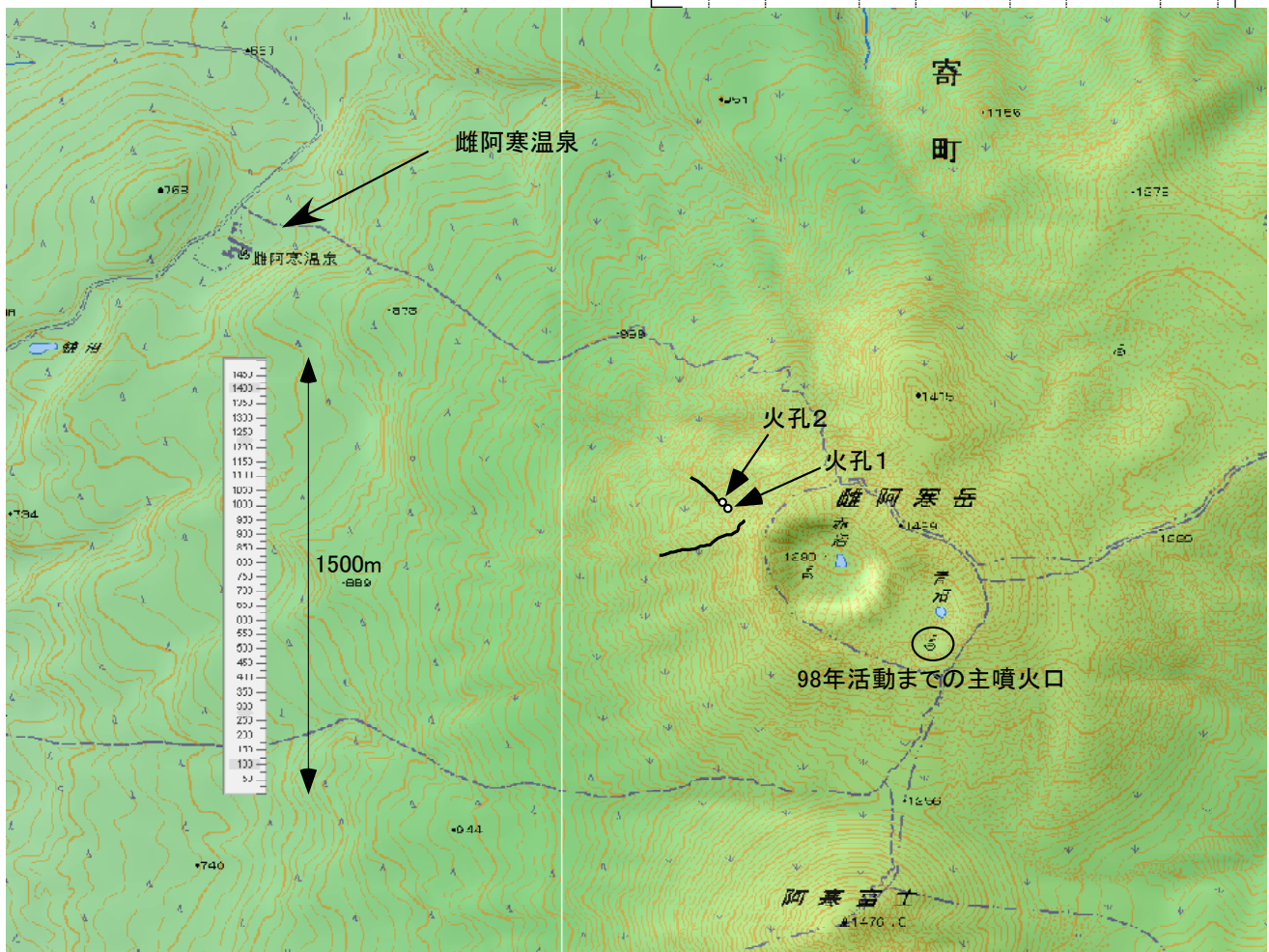


図2. ヘリコプター観測によって確認された火口位置図(札幌管区気象台提供資料に加筆修正)